

聞思

今号の法語
いだかれてありとも知らず
おろかにも
われ反抗す大いなるみ手に
九条武子

発行所 光山寺
〒758-0063 光市大字山田4553
TEL (0838) 22-1370
http://kousanji.net

本年の四月より本願寺派の宗制や宗法が改正され、それに伴って左記のような「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 総合基本計画が運動方針として策定されました。

【運動の願い】

浄土真宗本願寺派では、一九八六(昭和六一)年より「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ、「基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)」を進めてきました。このたび、その成果を継承し課題を克服するため、運動名称を「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)と改め推進することとなりました。宗祖親鸞聖人は、混迷した世の中にあつて、ともに念仏を喜ぶ仲間を「とも同朋」「御同行」と呼び、苦悩する人々とともに生き抜かれました。私たちの先人はそのお心を受け、「御同朋・御同行」と互いに敬愛し、み教えをまもり広めていこうと努めてこられました。「御同朋の社会をめざす運動」とは、いのちの尊さにめざめる同朋一人ひとりが自覚を深め、浄土真宗のみ教えを社会に広め実践していく活動です。

宗門では、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要を迎えるにあたり、今日までの歩みを見直し、将来を見据えたあり方を模索し、そのあるべき姿を最高法規である『宗制』と『宗法』を改正して明示しました。その『宗制』には、「本宗門は、その教えによって、本願名号を聞きし念仏する人々の同朋教団であり、あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もって自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献するものである」と記されています。二〇一一(平成二三)年三月に発生した東日本大震災やさまざまな災害からの復興に向け、宗門全体で、お互いに寄り添い支えあおうという取り組みを進めています。その中から私たちは、いのちのあり方を問う多くの声に接してきました。私たちは念仏者としてその思いに向きあい、応えていかなければなりません。

今こそ私たちは、今までの運動をさらに進め、親鸞聖人の生き方を仰ぎ、浄土真宗のみ教えを宗門内外に広げていかなければなりません。そのためにも、あらゆる人々が参画することのできるお寺と宗門をめざし、人々の苦悩に向きあい、ぬくもりのある活動を展開することが大切です。お念仏のみ教えを、混迷の社会を導く灯火として高く掲げ、人々に広く伝えながら、誰もが心豊かに生きることのできる御同朋の社会の実現をめざして歩みたいと思います。

仏教婦人会バザーに關しての報告

光山寺仏教婦人会会長、河村一江さんより、去る六月三十日(土曜)・七月一日(日曜)に開催された光山寺仏教婦人会法座におけるバザーの報告を頂きました。「十五回目を迎える婦人会バザーですが、いつも心配する事が、品物が集まるだろうかという不安です。しかし、今年も皆様の協力のもと、早くから橙菓子、マーメイド、夏みかんジュース、手作り品物もたくさん出品されました。本当に和気藹々の中にも盛会裏のうちに終わる事ができ安堵しております。一人の力は小さくとも、会員の皆様方の協力のおかげで、毎年行われているバザーですが、今年は今までの最高の十六万六千三百六十六円という大きな収益をあげる事が出来ました。本当に感謝しかありません。この中から日本ユニセフへ三万円、東日本大震災支援金へ三万円、いつも法座前の清掃奉仕させていたただいていますが、幕が痛んでいたので二万円で購入させていたいただきました。また、本堂に設置しております支援金箱にも沢山のご寄付をいただき本当に有り難うございました。」

■夏休みキッズサンガで今年も素麺流し■

毎月第三土曜日午前九時より開催しています土曜学校。夏休みは、子供を中心とし、保護者や仏教壮年会・仏教婦人会など世代を超えた行事「キッズサンガ」として開催し、お寺に足が向くようにと気運を高めています。平成二十一年年より夏休み子供早起朝食会を拡大。ラジオ体操・境内清掃・動行の後、素麺流しを企画。約五十名という多くの子供や父兄の方々に参加していただく事ができました。企画に際しては、総代会・仏教壮年会・仏教婦人会などの各役員の皆様のご協力をいただきました。特に、竹の切り出しなど、猛暑の中を仏教壮年会有志の皆様には誠に「ご苦労さまでした。また、婦人会の皆様には素麺をはじめ、食事の準備などご協力いただき、大変に有り難うございました。尚、萩組夏休み子供一泊合宿が七月二七・二八日に萩幼稚園を会場に開催され、光山寺より十三名の参加がありました。



■若院、来年度の「本山での安居の副講者に決まる」■

若院が来年度の夏に行われる、本願寺の宗学研鑽の最高法会である安居(七月十八日から三十一日まで)にて、副講者として法然聖人の『選択集』を講じる事になりました。安居とは、釈尊在世中より始められたとされ、それまで個々に活動していた僧侶たちが一か所に集まって集団で修行や研鑽することをいいます。日本でも、古来より宗派を問わず様々な形で安居が現在に続いており、浄土真宗本願寺派では、夏季の二週間にわたって京都の龍谷大学本館において安居が開催されています。

光山寺行事案内

平成二十四年度九月〜十二月までの光山寺行事予定一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

関連行事には
カレンダーに◎印を!

★光山寺法要関連

九月二六・二七日(水・木曜)

秋季永代経法要(講師、二木文生師)

十一月二八・二九・三〇日(水・木・金曜)

報恩講法要(講師、藤本唯信師)

★山口教区・萩組関連

十月二九日(土曜) 連研(明安寺)

十一月九日(金曜) 連研(長泉寺)

十一月二五日(日曜) 山口別院にて帰敬式執行

十一月二六・二八日(月・水曜) 山口別院報恩講法要(山口別院) ※二六日の萩組参拝者募集中

十二月二六日(水曜) 午後五時 萩組教化組織懇談会(萩本陣)

★子供会(土曜学校) 関連 午前九時(本堂)

十月二〇日(土曜) 十一月十日(土曜)

十二月十五日(土曜) 子供報恩講一月〇日(口曜)

★仏教青年会関連 午後三時(庫裏)

十二月三十一日(月曜) 除夜会

★仏教壮年会関連

九月三〇日(日曜) 午後二時 光山寺ソフトボール大会

十一月二九日(木曜) 午後七時 報恩講夜座(本堂)

十二月二日(土曜) 午後六時 光山寺仏教壮研修会・忘年会

★仏教婦人会関連

九月二四日(月曜) 午前八時半 秋季永代経の清掃・莊嚴

十一月二六日(月曜) 午前八時半 光山寺報恩講の清掃・莊嚴

★親鸞聖人讃仰会 午後八時(本堂)

十月十五日(月曜日) ※本年はこれでおわり

★礼讃の夕べ(旧、正信偈唱和会) 午後八時(本堂)

十月十三日(土曜) ※本年はこれでおわり

★雅楽練習会 午後七時半(庫裡)

十月十四日(日曜)

★仏教讃歌コーラス練習会 毎月第三木曜日(本堂)

十月十八日(木) 午後八時

※雅楽・コーラスは新規参加者募集中。気軽にお問合せください

背骨集・お知らせ

今年も別院にて帰敬式

山口別院の報恩講に合わせて今年も帰敬式が執り行われます。帰敬式は、阿弥陀さま・宗祖親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯た一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則としてご本山でご門主によって執り行われ、三帰依文を唱えて、おかみそりを受け、法名をいただくのですが、本願寺以外でも帰敬式執行が可能となりました。受式者全員、椅子で帰敬式を受式できるの、このご縁に是非受式ください。日時は十一月二十五日(日曜日)午後一時より受付。午後二時執行。冥加金は成人一万円・未成年五千円を当日持参ください。申込み方法は、お寺まで氏名・生年月日・住所を必ず十月十五日までにお知らせください。また、この度の帰敬式では法名の内願(本人がご希望の法名を付ける事)が、残念ながら期日の関係でできません。尚、ご本山での帰敬式は従来通りに毎日2回行われています。(一月一日・一月十六日の晨朝後、一月八日・十二月二十日終日を除く)

報恩講夜の座

光山寺の報恩講日程は毎年十一月の二十八・二十九・三十日の三日間の固定で、朝・昼の合計六座の法座がもたれている。日程の関係上、仕事などでは夜の座が開かれている。今年、報恩講ではこの夜の座が十一月二十九日のみ午後七時より開かれる。今年のご講師の先生は、子供にも分かりやすいお話をしていただけるかと思えます。また、この夜の座には雅楽演奏も加わる予定です。尚、夜の座が開かれる関係から三十日は午前中にて満座終了となる。また、夜の座が仏教壮年会の研修をかねているので壮年の方々には万障繰り合わせの上ご参加ください。

冬の児童作品募集

本願寺では毎年一月九日から十六日までの間、親鸞さまのお徳をたたえるとともに、ご苦勞を偲ばせていただく「御正忌報恩講法要」が勤まります。例年、この法要期間中に「全国児童生徒作品展」を開催いたします。私たち一人ひとりが仏さまのみ教えの中で育てられ、生かされている喜びを、作品に表してみましよう。たくさんのお友達をさそって、みなさんの得意な部門に出品してください。

「作文・詩」

テーマ1「であい」 テーマ2「いのち」 テーマ3「さずな」

親鸞さまのご生涯のお話を聞いたり、また今回の大震災や身近なできごとを体験して感じたことや学んだことなどを書いてみましょう。

- ・ 幼児規格無し ・ 小学生 B4縦書 400字詰原稿用紙3枚以内
- ・ 中学生 B4縦書 400字詰原稿用紙4枚以内



※原稿用紙の1行目に「題」、2行目に「単位名(団体名)」および「学年」、3行目に「氏名・ふりがな」を必ず明記してください。

【絵画】

課題はありませんので自由に描いてください。(A3・A4・A5・版画も可)。四切(38cm×54cm)以内(全学年共通)。名札を作品下部中央につけてください。

【書画】

幼児自由で書いてください(一字でも可)。
 小学1年生Ⅱ「きく」 小学2年生Ⅱ「とも」 小学3年生Ⅱ「めぐみ」
 小学4年生Ⅱ「平等」 小学5年生Ⅱ「真実」 小学6年生Ⅱ「報恩」
 中学 生Ⅱ「大悲弘誓願」

※学年・氏名は、自筆で左側に書くこと。ただし、低学年の場合は姓または名前だけでもよい。園児・小学生半紙(タテ33cm×ヨコ24cmに限る)書体は楷書。中学生、画仙紙半切四分の一の大きさ(タテ68cm×ヨコ17.5cm)書体は楷書もしくは行書。名札を作品下部中央につけてください。

表彰

- 「特選」各部門各学年一名 「入選」各学年三名以内
- 「佳作」 各学年若干名
- 「はと賞」 各部門若干名

(3) 応募者全員に参加賞を贈ります。

出品方法 十月二十五日までに光山寺迄お届けください。作品は返却いたしません。※山口別院作品展については別紙案内をご覧ください。

光山寺仏教讃歌コーラス参加者募集

光山寺仏教讃歌コーラスは、平成三年四月に結成以来二十二年間、仏教讃歌を通しておみのりに遇わせていただき、「お言葉の美しさ、こころのハーモニを醸し出す」ことを目指して活動しております。今年、初めて、山口教区仏教音楽連盟にも登録し、『仏教讃歌のつどい』(下関市生涯学習プラザ/七月八日)にも出場しました。参加者も次第に増えていきます。どなたでも参加できますので、みなさんも一緒に歌ってみませんか。



① 練習は毎月一回で、発表は婦人会法座などで行っています。

② 昨年は萩組のコーラスにも加わって、萩組お持ち受け法要に参加させていただきました。

③ 指導して下さる方は、萩市三見明石の山中先生です。

仏教豆辞典

『仏教用語辞典一〇〇』本願寺出版部より

【引導(いんどう)】

「引導を渡す」という言葉があります。あきらめ切れないうで迷っている人に、最後の言葉や言葉を渡して、覚悟をきめさせ、あきらめさせるといふ意味なのでしょう。葬式するとき、死者が迷わぬよう、僧が法語を与えることを、引導といいますが、死者を仏界に導くという意味で、禅宗では、この時「カツ」と大声を発するのはよく知られています。死者に対する引導の儀式は、浄土真宗では行ないませんが、宗派によっても種々に異なっているようです。本来、引導とは、誘引開導の意味で、人々を教え導いて、仏の道に引き入れることをいいます。「集生を引導する」と、お経によく出て来るように、迷っている人々を、仏道にみちびくことなのです。その意味では、死んでからではなく、開法は生きている間にと思ふのですが……。

【浮世(うきよ)】

みなさんは歌麿や北斎・広重などの「浮世絵」や、西鶴の「浮世草子」をご存じですか。江戸時代に、当世流行の風俗や世態を題材とした絵画や小説です。浮世とは、当世風とか風流とか好色とかの意味のようです。式亭三馬の滑稽本「浮世床」「浮世風呂」や邦楽の一種「浮世節」など、浮世と名のつくものがいくつもありました。古くは、憂世と書かれていたようで、定めのないはかない世、栄枯盛衰のはげしい無常の世、憂世に満ちた世という意味で、この俗世間のことでした。浮世の風などはそれを表わしています。近世になって、はかなく定めがないのだから、深刻に考えないでうきうきと享樂的に生きるという考え方が加わってから、浮世と書かれる方が多くなり、現世、当世の意に用いられるようになりました。みなさんにとって、この世は憂世ですか。それとも浮世ですか。

【有頂(うちょうてん)】

得意の絶頂になっていることを、「有頂天になっている」といいます。喜びに夢中になって、他をかえりみない状態のことをいいます。しよう。仏教では、迷いの世界を六つに分けて六道と呼び、その一番高いところが「天」の世界です。この天の世界もいくつかの段階に分かれていて、それぞれに名前がついています。三界二十八天と云うのだそうです。その天の世界の中で、頂上に位置する天を、非想非非想処天(ひそうひひそうじよてん)といい、あらゆる存在者にとって最高の境地なのです。だから、この天は、存在者、つまり有の頂上にある天という意味で、有頂天と呼ばれています。「有頂天に上りつめる」という意味から「有頂天になる」となったそうですが、有の最高の天とはいっても、まだ悟りの世界ではないので、あまり得意になっていると、すべり落ちてしまいます。